

第 3 次

東自治振興区地域振興計画

平成30年 3 月

東自治振興区

目 次

序章	計画策定（見直し）にあたって	
1	地域振興計画の見直しについて	1
2	地域振興計画の役割	2
3	計画の期間	2
1章	専門部活動に関するアンケート調査結果の概要	3
1	調査の概要	5
2	アンケート結果の考察と今後の専門部活動方針	5
2章	第2次「地域振興計画」における地域づくり計画の検証	
1	地域で安全・安心に暮らせるまち	6
2	地域で楽しく豊かに暮らせるまち	7
3	地域産業が盛んなまち	8
4	定住やU I ターンをしたくなるまち	9
5	環境にやさしく美しいまち	10
3章	地域の資源・魅力と問題点・課題	
1	地域の資源・魅力	11
2	地域の問題点・課題	12
4章	地域づくり計画	
1	計画づくりで大事にしたいこと	13
2	地域づくりの目標	14
3	地域づくりの計画	15
4	地域づくりを支える自治振興区活動の推進	21
5	地域づくりの重点事業	22
資料	計画策定の経緯等	23

序章 計画策定（見直し）にあたって

1 地域振興計画の見直しについて

1) 第1次 地域振興計画：平成18年度策定

東自治振興区では、平成18年度に次のような目指す将来像を掲げ、安全・安心な地域づくり、地域文化の掘り起こし、生涯学習、体育文化活動、福祉活動、環境美化活動などに取り組むとともに、これらの活動を支える自治会及び自治振興区の活動の強化に努めてまいりました。

＜東自治振興区の将来像＞

- みんなで知恵を出し、汗をかいて安全・安心な地域づくり
- お互いが支え合い、助け合って心のかよう地域づくり

しかし、この計画を策定して5年以上が経過し、この間の社会情勢の変化への対応と自治振興区活動の一層の推進を図るため計画の見直しが必要になりました。

2) 第2次 地域振興計画：平成24年3月策定

第2次「地域振興計画」（平成24年度～平成28年度）の策定にあたっては、全世帯を対象としたアンケート調査及び中高生に対するアンケート調査を実施するとともに、自治振興区の役員、専門部会の関係者で構成する委員会やワークショップを行い、住民の皆さんの意見を幅広く結集して計画づくりを行いました。

しかし、この計画終了年の平成28年度が満了する中、自治振興区事業において活動内容が固定化しがちであったり若者や中高生の参加が極めて少ない等の課題が見えてきました。

また、国営備北丘陵公園への来訪客をターゲットにした活動や広島県立大学との連携その他、取組が進まなかった計画についての見直しも必要な状況となり、平成29年度で第3次の「地域振興計画」を策定することとしました。

3) 第3次 地域振興計画の策定（見直し）について

第2次「地域振興計画」は、世帯向けアンケートと中高生向けアンケートを実施し、どちらも概ね70%程度の回収率を得た回答内容の分析を行い、さらに地域の資源・魅力や問題点・課題を整理し、50名の策定委員が7回の会議等を重ねて策定した計画であり、地域づくりへの思いが強く込められた計画であると認識しております。したがって、計画策定に向け整理された東自治振興区の実態分析や計画づくりで大事にしたいこと、更には、この計画に掲げた「強い絆と交流による元気な地域づくり」の目標や、この目標を実現するための5つの基本方針については、基本的に踏襲していく事としました。

第2次「地域振興計画」の実施で見えてきた課題に対処するためには、これまでの活動の検証を行い、さらなる推進策の検討や計画の見直しを行う一方、青少年や若者が参

画できる活動を計画することが必要となります。

このため、活動の検証では、平成28年1月から2月にかけてこれまでの活動を振り返り今後の専門部活動に生かすことを目的に、区民アンケートを実施しました。

また、平成29年度に自治振興区の役員その他、保育所、小学校、中学校の保護者の代表、自治振興区活動に協力を頂いている諸団体の代表から構成される「地域活性化推進会議」を設置し、幅広い年齢層、組織から事業提案を頂きながら第3次「地域振興計画」を策定することとしました。

2 地域振興計画の役割

第3次「地域振興計画」の策定にあたっては、これまでの計画を検証・点検した上で住民ニーズを把握・対応するため、アンケートやワークショップを重ね住民の声を盛り込んだ計画となるよう努めてきました。

したがって、この計画は東自治振興区の住民、住民団体で地域づくりの方向を共有するとともに、東自治振興区、自治会などが中心になって行う地域づくりを計画的に推進するための共通の指針となるものです。

3 計画の期間

計画の期間は、平成30年度～39年度までの10年間とします。

なお、社会情勢の変化や施策の動向を踏まえ、必要に応じて計画内容の検討と見直しを行うこととします。

1章 専門部活動に関するアンケート調査結果の概要

1 調査の概要

東自治振興区では、10の専門部がそれぞれ連携しながら各種の事業を行ってきました。今回、自治振興区発足10年が経過する中、これまでの活動を振り返り、今後の専門部活動に生かすため区民の皆様の意見を聴くアンケート調査を実施しました。

調査は、平成29年1月8日から平成29年2月25日の間で、自治会毎に会議を開催し、アンケートを実施する趣旨の徹底を図って貰った後に各家庭にアンケート用紙1枚を配布して行いました。

調査表の配布・回収状況は、配布数1,176枚、回収数868枚、回収率74%となっています。

このアンケート結果の考察と今後の専門部活動方針については区民の皆さんへのお知らせとして、平成29年9月20日付けで回覧を行いました。その内容については以下のとおりです。

2 アンケート結果の考察と今後の専門部活動方針

【各設問に対する上位5番までの回答（複数回答）を回答者数、全体に占める割合をパーセントで表記しています】

問1 回答者の男女別、年齢について

*性別

男性471人 女性397人の回答数においては、概ね性別による偏りはないと思われます。

*年齢

1	60歳代	240人	27.6%
2	70歳代	211人	24.3%
3	50歳代	135人	15.5%
4	80歳代	115人	13.2%
5	40歳代	81人	9.3%

60歳代以上の回答者が587人と全体の約68%を占めており、いわゆる高齢者の意見が大半を占める結果となっています。

問2 今、実施している東自治振興区や自治会活動の中で、今後も是非続けてほしいものは何ですか。

1	ふれあい祭	391人	45.0%
2	振興区だよりの発行	390人	44.9%
3	敬老会	374人	43.1%
4	盆踊り	275人	31.7%
5	サロン活動	185人	21.3%

以下、「健康ウォーキング」、「各教室の活動」が20%を超えている。

【今後の方針】

- ・振興区活動におけるイベント実施については、「行事が多すぎる」、「役員の負担が多い」等の意見がある反面、継続を望まれる意見も多くあり、賛否両論の意見があるが、世代間・地域間の交流、地域の元気づくりのためにも内容の検討等を行いながら各種事業は継続、充実を図っていきます。
- ・振興区だよりの発行は多くの区民に喜ばれており、掲載記事の充実や紙面の工夫等に取り組んでいきます。
- ・サロン活動、各教室の活動については、高齢化が進行する中、地域内の連携を深めるためにも重要な活動と捉えており、情報交換や生きがいをづくり、健康増進等の活動支援を充実していきます。

問3 日頃の生活の中での悩みや困りごと、不安に感じていることは何ですか。

1 健康について	425人	49.0%
2 介護について	252人	29.0%
3 将来の生活	204人	23.5%
4 家や田畑の管理	192人	22.1%
5 地震などの災害	180人	20.7%

【今後の方針】

- ・回答者の年齢構成が高いこともあり、高齢化に伴う不安が数字に表れていると思われる。振興区活動の域を超える悩みもあるが、サロン活動の支援や福祉関係団体との連携を図っていきます。

問4 悩み事、困りごと、不安なことは誰に相談しますか。

1 家族	488人	56.2%
2 友人	213人	24.5%
3 自分で解決している	202人	23.7%
4 親戚	194人	22.4%
5 隣近所	155人	17.9%

【今後の方針】

- ・いろいろな相談については、なるべく身近で相談者や現状をよく知っている人に相談する回答が多く、振興区としては友人の増加、隣近所の付き合いを深める支援を行っていきます。

問5 将来に向け自分で努力していることはどんなことですか。

1 自分で出来ることは出来るだけする	501人	57.7%
2 食生活に配慮	340人	39.2%
3 ウォーキング等の運動	187人	21.5%
4 趣味やボランティア活動をする	158人	18.2%
5 老後に備えて貯蓄	130人	15.0%

【今後の方針】

- ・健康寿命を延ばすための活動支援や他団体事業との連携、その他機会を捉えた情報提供等に取り組んでいきます。

問6 周りの人に支援（手をさしのべる）してもらいたいことは何ですか。

- | | | |
|------------------|------|-------|
| 1 家の周りの草刈や草取りの支援 | 144人 | 16.6% |
| 2 そっとしておいて欲しい | 135人 | 15.6% |
| 3 声掛けをして欲しい | 69人 | 7.9% |
| 4 話相手になって欲しい | 65人 | 7.5% |
| 5 集まる機会を増やして欲しい | 54人 | 6.2% |

3番目以降の回答で、個別では7%程度であるが、類似意見の「声掛けをして欲しい」、「話相手になって欲しい」、「集まる機会を増やして欲しい」の合計は20%を超えている。

【今後の方針】

- ・自分の生活には踏み込んでほしくないとの思いの反面、地域や友人等とのふれあいを求めている。
- ・現在振興区では生活に踏み込まない程度のさりげない見守り活動を行っている。今後とも自治会での要支援者の把握や情報共有を行うとともに家族以外の人とのふれあいの場の提供、支援を行っていきます。

【まとめ】

東自治振興区は、市内22自治振興区の中で、庄原、東城に次ぐ3番目に人口が多い約3,800人の区民により成り立っています。

今回、区民の皆様の思いを今後の専門部活動に生かしていく事を目的にアンケートという手法でご意見を伺いましたが、全体としてはこれまでの振興区活動に概ねご理解いただけているのではなかろうかと思っております。

なお、設問以外の自由意見に福祉関係への取組や防災対策、県立大学との連携に対する意見、その他様々な意見が寄せられていますが、自治振興区では対応できない課題も多く寄せられています。

一方、自治振興区活動は、平成23年度に策定した東自治振興区「地域振興計画」に基づき、各種の事業を行ってきましたが、この計画期間が経過し見直しが必要となっています。

この計画見直しは、中学校、小学校、保育所の保護者、民生・児童委員、ひとり暮らし巡回相談員、人権教育推進委員、振興区役員の各組織代表で構成する「地域活性化推進会議」で検討することとしており、今回のアンケート結果も参考にしたいと考えております。

見直しを行う「地域振興計画」では、これまでの活動を検証しながら各年齢層、各組織の意見を受けて検討を行いますが、振興区活動は各地域の自治会長等を中心に事業実施しており、活動の限界、自治会長への負担や責任が過大にならない配慮も必要と考えております事をご理解いただきたいと思います。

いずれにしても今年度中には新たな「地域振興計画」を策定する予定ですので、区民の皆様にはさらなるご理解ご協力をお願いいたします。

2章 第2次「地域振興計画」における地域づくり計画の検証

第2次「地域振興計画」の見直しを行うにあたり、これまでの活動を検証した結果は次のとおりです。

1 地域で安全・安心に暮らせるまち

主要項目	個別事業等	検証	判断内容等	重点事業への掲載
◎高齢者・障害者が安全・安心に暮らせるまち	・声掛け訪問、見守り活動の実施	○	自治会又は班単位で支援が必要な高齢者又は障害者の情報を把握・関係機関との情報共有を行い、さりげない見守りを行っている。なお、年2回は対象者情報の再確認を実施。【おたがいさまネット事業】	
	・ふれあいサロン活動の充実	○	歩いて集える範囲の小地域の集まる場におけるサロン活動は、情報交換、助け合い活動の基となる大切な活動であり積極的に支援している。【東地区ふれあいサロン事業】	
	・日常生活（ゴミ出し等）及び外出支援（通院・買い物等）の検討	×	シルバー人材センターとの連携、サポート組織の検討は出来ていない。	
◎子どもが安全・安心に暮らせるまち	・登下校時の子どもの見守りの充実	○	ボランティアによる見守り活動実施中。	子どもと高齢者の交流活動
	・子ども110番の充実	△	ボランティアでの110番の家、車にステッカーを貼っての見守り隊は出来ているが、相談体制の整備には至っていない。	
	・地域でのあいさつ運動の実施	○	振興区役員他月1回東小学校での声かけを実施。日常はボランティアによる登下校時の声掛けを実施。	
◎安全・安心な環境づくり	・自主防災組織づくりの推進	△	平成28年4月、七塚東区中原地域において自主防災組織結成。組織化は出来ていないが2地区で自主防災について研究中。	
	・高齢者、障害者の避難支援体制の確立	△	おたがいさまネット事業により要支援者の把握は行っているが、役割分担等の組織化は出来ていない。なお、災害時の要支援者については行政が把握。	
	・防災マップ、防災訓練の実施	△	庄原市作成の東地域全域の防災マップはあるが、自治会単位での防災マップの作成は出来ていない。また、振興区としての防災訓練は出来ていないものの、自治会には折に触れ防災や避難に関する情報提供を行っている。	

2 地域で楽しく豊かに暮らせるまち

主要項目	個別事業等	検証	判断内容等	重点事業への掲載
◎郷土愛を育む歴史文化学習の推進（子ども）	・歴史文化学習の充実（歴史文化探訪・伝承、＜歴史文化カルタの作成＞	○	東地区の歴史紀行・東地区に伝わる盆踊りのDVD、歴史文化カルタ作成済。保育所、小学校での教材としても活用されている。	
	・地域体験学習の実施（里山・川遊び・農業・郷土料理体験等）	○	食農教育事業指定を受けた東小学校の米作り体験や、東小学校ふれあい体験学習では講師として世代間交流を推進している。	子どもと高齢者の交流事業
	・子どもと高齢者の交流の推進	○		
◎日常生活を楽しくする活動の推進	・各種教室、サークル活動の充実	○	教室等による学習成果の発表やサークル活動等への助成。ふれあい祭りではステージ演芸や展示に取り組んでもらっている。【生涯学習委託事業】	イベント創出事業
	・スポーツ、健康づくり活動の充実	○	ふれあい健康ウォーキング・球技大会等の活動を実施。スポーツ少年団活動等への助成のほかウォーキングポール、グラウンドゴルフ道具等の貸出を行っている。	
	・冬のイベントの創出（雪合戦）	△	雪合戦サークルは雪合戦大会に参加を行った経緯はあるが継続していない。また、冬のイベント創出にも至っていない。	
◎世代間交流活動の推進	・地域行事の充実	△	自治会で開催される祭り等、地域内での交流を深める自主的な地域行事に助成している。【自治会活動促進事業】	
	・東自治振興センターを交流の場として開放	○	振興区主催事業、生涯学習教室、振興区内活動に対し積極的に開放している。	
◎県立大学教職員、学生の地域活動への参加の推進	・県立大学と連携した地域学習講座の開講	×	教職員・学生の専門的知識や若者の斬新な感覚を地域づくりに活用したいとの思いであったが、具体化できていない。	
	・県立大学学生の参加による地域活動の活性化	×		

3 地域産業が盛んなまち

主要項目	個別事業等	検証	判断内容等	重点事業への掲載
◎農業の振興	・特産品開発、郷土料理の発掘、継承活動の推進	△	農家や農業生産法人と連携しての活動、広域集客施設を意識した取組、専門知識や技術の取入れ等、振興区内の施設を活用したいとの思いの計画であったが、具体的な取り組みは行えていない。専門部活動として振興区近隣農地を借用して綿と大豆を栽培しているが、市民農園等への取組は行えていない。 なお、加工品の開発等に取り組めるよう食品乾燥機、製粉機を購入している。	
	・農業塾の開設・運営	×		地域の食の販売促進事業
	・遊休農地を活用した市民農園、学童農園、観光農園づくり	△		東自治振興区農園運営事業
	・農産物、特産品の販売体制の構築	△		
	・専門機関と連携した農産物のブランド化の推進	×		
◎国営備北丘陵公園と連携した観光振興	・来訪客に対する農産物の販売、郷土料理等を提供する直売施設の整備（土日祝日のテント販売から開始）	×		地域の食の販売促進事業
◎里山の保全、活用	・里山再生に向けて取組の推進	×		

4 定住やU I ターンしたくなるまち

主 要 項 目	個 別 事 業 等	検 証	判 断 内 容 等	重点事業への掲載
◎地域出身者との継続的な交流の推進	・地域出身者への継続的な情報発信と交流（地域イベント等の情報発信、特産品の宅配、Uターンの働きかけ）	×	・振興区の活動については記録写真、DVD等に残すようにしているが、情報発信には至っていない。	
◎来訪客・都市住民との交流の推進	・国営備北丘陵公園来訪客との交流のきっかけづくり（特産品販売、郷土料理の提供等を通じて）地域行事への参加、Iターンの働きかけ	×	行政での取り組みも行われているが、公園来訪客は公園内で滞在が完結しており、きっかけがつかめていない。	
◎県立大学生との交流の推進	・県立大学生との定期的な交流会の開催、自治振興区の活動への参加の働きかけ、大学行事へ東自治振興区から参加	×	若者が参加する行事への取組が進んないこともあり、交流できていない。	県立大学との交流推進事業
◎地域定住への支援体制づくり	・U I ターン者に対する生活相談等への対応体制づくり	×	行政において空き家・定住対策を行っているが、振興区としての体制は出来ていない。	
	・空き家の紹介体制づくり（空き家調査、空き家情報の発信、仲介等）	×		
◎地域外への情報発信体制づくり	・東自治振興区のホームページの充実	△	ホームページの立ち上げは行っているが、スタッフ不足もありタイムリーな情報の更新が行えていない。	

5 環境にやさしく美しいまち

主要項目	個別事業等	検証	判断内容等	重点事業への掲載
◎環境にやさしいまち	・環境美化活動の推進（河川、里山、道路清掃等）	○	空き缶・ゴミ等の不法投棄物の回収や公園・河川等の環境整備活動を行った団体活動を助成【環境整備助成金事業】	
	・廃食油リサイクル活動の推進	○	廃食油回収状況：H28 第1位東振興区 253㍓ 第2位 総領支所 103㍓	
	・省エネへの取組の推進	△	太陽光発電等の推進には取組めていないが、家庭における電気・ガス・水道等のエネルギー消費量を確認する取り組みや「ござれ市」でのリサイクルへの取組を行っている。	
◎美しいまち	・遊休農地・里山への花木等の植栽	○	自治会活動促進費等を活用し、桜や花の植栽、プランターの設置等を行っている。	
	・国営備北丘陵公園アクセス道路沿い等への花の植栽	○		
	・国兼川のホタルの里づくり	○	子どもたちが自然にふれ、環境を意識する活動としてホタル祭を開催している。また、国兼川ホタル里づくり会が結成され、生息数調査やホタルの保護活動に取り組まれている。	国兼川流域ホタルの里づくり事業
	・三日市の歴史的町並みの保存	×	町並み探訪は行っているが、保存活動には至っていない。	
	・景観眺望マップの作成	×	平成24年度に眺望写真を募集したものの成果となっていない。	

3章 地域の資源・魅力と問題点・課題

自治会の役員、自治振興区の部会の関係者が参加して行ったワークショップ（話し合い）での地域の資源・魅力と問題点・課題についての意見を整理すると、次のとおりです。

1 地域の資源・魅力

資源	資源の活用
① 国営備北丘陵公園	・年間約50万人の来訪客がある広域を対象とした公園であり、こうした来訪客をターゲットとする産業起こし（飲食店、特産品販売等）を検討する。
② 畜産技術センター	・ポプラ並木、美しい夕陽の眺望スポットなどがあり、こうした特徴のある景観を地域づくり（イベントの開催、来訪客の増大等）に活用することを検討する。
③ 自然資源	・地域の中央を東西に流れる国兼川は住民生活に潤いを与えており、より一層住民に親しまれる環境づくりを検討する。
④ 歴史文化資源	・三日市は歴史的町並みが残っており、こうした町並みを観光資源として活用することを検討する。 ・円通寺、勝光寺（檀家が多く、古い寺）、矢の風呂上池等の多様な歴史文化資源があり、これらは「東地区の歴史」及び「歴史文化資源マップ」としてまとめられている。こうした歴史文化資源の地域づくり（子どもをはじめとする住民の郷土愛の醸成等）への活用を検討する。 ・以前は住民の交流の場であった神社仏閣を、再度祭事、交流の場として活用することを検討する。
⑤ 農業資源（農地、農家・農業生産法人、休耕田）	・農業が盛んな地域であり、地域を挙げて農業の活性化を支援する方策（国営備北丘陵公園の来訪客に対して、農産物・特産物の販売、地域食材を活用した郷土料理の提供等）を検討する。
⑥ 休耕田	・担い手不足で休耕している水田を資源として捉え、花き（レンゲ、ひまわり等）の植栽による美しい景観形成を図ることを検討する。
⑦ 福祉施設	・高齢者福祉施設の立地を活用して、地域と福祉施設との交流による福祉意識の醸成を図ることを検討する。
⑧ 東自治振興センター	・様々な住民が交流、活動している東自治振興センターを、より一層の賑わい拠点（地域の世代間交流、学生、他地域との交流、生涯学習等）とすることを検討する。 ・来訪することが楽しくなるように、休息、カフェ等のサービス施設の設置を検討する。
⑨ 県立広島大学庄原キャンパスの人材等	・県立広島大学庄原キャンパスの教職員、学生の専門的な知識を地域づくりに活用する。 ・大学生、高校生などの若者の斬新な感覚を地域づくりに活用することを検討する（地域行事、イベントへの参加等）。
⑩ 特技を持つ人材	・人口4,000人以上が住む地区で、多様な特技を持つ人材がいることから、これら人材を活用することを検討する（人材リストの作成と適材適所で活用する仕組みづくり等）。

2 地域の問題点・課題

問 題 点	問 題 点 ・ 課 題
① 子ども・若者の減少による活力の低下への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・就業の場、若者に魅力のない生活環境（都市施設が少ないこと、産婦人科がないこと、子どもの教育に対する不安等）などの問題から若者の流出に歯止めがかからない状況にあり、併せて子どもも減少してきており、若者の定住、UIターンの促進に取り組む必要がある。 ・地域の子どもの減少して、一緒に遊ぶ環境が失われつつあることも、子育て中の保護者の不安材料になっている。
② 高齢者の生活不安への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加が継続しており、一人暮らし、高齢者のみの世帯をはじめとする高齢者の安全・安心な環境づくりに地域を挙げて取り組む必要がある。 ・特に、自家用車を運転できない高齢者の通院、買い物の際の交通手段の確保、住宅回りの管理の支援などに取り組む必要がある。
③ 農地・山林の荒廃への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の減少と高齢化、所得の低迷、農産物に対する鳥獣被害の増加などにより農地・山林の荒廃が拡大し、地域環境の悪化を招いていることから、農地・山林の保全対策、荒廃農地・山林の復旧、別途利用の検討に取り組む必要がある。
④ 空き家の増加への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を背景として空き家が増加しており、こうした空き家を活用して他地域からの人口の流入を進めることに取り組む必要がある。 ・また、老朽化して住むことができない空き家が増加し、地域景観を損なっていることから、老朽化している空き家対策を所有者と協力して取り組む必要がある。
⑤ 自治会、自治振興区活動に	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の構成員の高齢化が進行しており、班運営の困難化している所がある一方で、構成員が多すぎてまとまりのない所があるほか、引っ越してきても自治会に加入しない世帯が増えており、自治会のあり方を再検討する必要がある。 ・情報の伝達、共有の不十分な面があり、行事等の連絡体制の強化に取り組む必要がある。
⑥ 自治振興区と小学校区の範囲が異なること	<ul style="list-style-type: none"> ・自治振興区と小学校区の範囲が異なることから、全ての行事を自治振興区単位で行うことができず、不便になっていることから、自治振興区と小学校区の範囲の統一に取り組む必要がある。

4章 地域づくり計画

1 計画づくりで大事にしたいこと

計画づくりにあたっては、次のような点を大事にしました。

① 住民みんなの意見を活かした計画づくり

地域づくり振興計画の策定に係る世帯向け及び中高生アンケート調査結果、委員会、ワークショップでの意見を踏まえ、住民の皆さんの意見を反映した計画づくりを行いました。

② 地域が大好きな人であふれる計画づくり

地域が大好きで、地域で生活することに誇りを持つ人を育て、増やし、老若男女、地域が大好きな人であふれるように計画づくりを行いました。

③ 支え合い・助け合いの計画づくり

一人ひとりが連携し、誰もが率先して考え、行動し、高齢者、障害者、子どもなどをしっかり支えることができるように計画づくりを行いました。

④ 多様な人材を活かした計画づくり

次のような人材が活躍できるように計画づくりを行いました。

<約3,800人（平成28年度末）の住民>

東自治振興区の人口は約3,800人と多く、多様な人材がいます。こうした人材が適材適所で自治振興区の活動や地域づくりに参加できるようにします。

<県立広島大学庄原キャンパスの教職員、学生>

東自治振興区には県立広島大学庄原キャンパスがあり、教職員の専門的な知識・技術、学生の感性、パワーを東自治振興区の活動や地域づくりに活かします。

<地域出身者>

全国に居住されている東自治振興区の出身者の方との交流を進め、地域づくりへの助言や地域特産物の購入者になって地域を応援してもらうとともに、地域へUターンし、地域づくりの担い手になってもらうことを期待します。

<来訪客、都市住民>

年間約50万人の来訪客に対して、東自治振興区を知ってもらうきっかけづくりを行い、交流に結びつけるとともに、地域づくりへの助言や地域特産物の購入者になって地域を応援してもらうようにします。

⑤ 東自治振興区ならではの地域の魅力を活かした計画づくり

東自治振興区ならではの次のような資源を活かした計画づくりを行いました。

- ・自然資源（国兼池等のため池、国兼川、ホテル）
- ・歴史文化資源（神社仏閣、三日市の町並み等）
- ・農地山林で囲まれた緑豊かな田園風景
- ・生活利便施設（保育所、小学校、高等学校、福祉施設）が分布するとともに庄原市中心部に隣接して、利便性に恵まれた地域
- ・国営備北丘陵公園（来訪客年間約50万人）、畜産技術センター（畜産技術、ポプラ並木等の景観資源）、県立広島大学庄原キャンパスの立地

2 地域づくりの目標

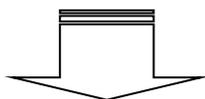
本計画では、「絆」、「交流」、「元気」という3つの言葉を計画づくりのキーワード（核になる言葉）とし、地域づくりの目標として「**強い絆と交流による元気な地域づくり**」を掲げました。

<3つのキーワード>

絆 : 約3,800人の住民、県立広島大学庄原キャンパスの教職員、学生、地域出身者、国営備北丘陵公園来訪客、都市住民

交流 : 地域大好き人間相互の助け合い、支え合い
地域内外の人との活発な交流、地域づくりへの応援

元気 : 産業が活発、誰もが元気で笑顔



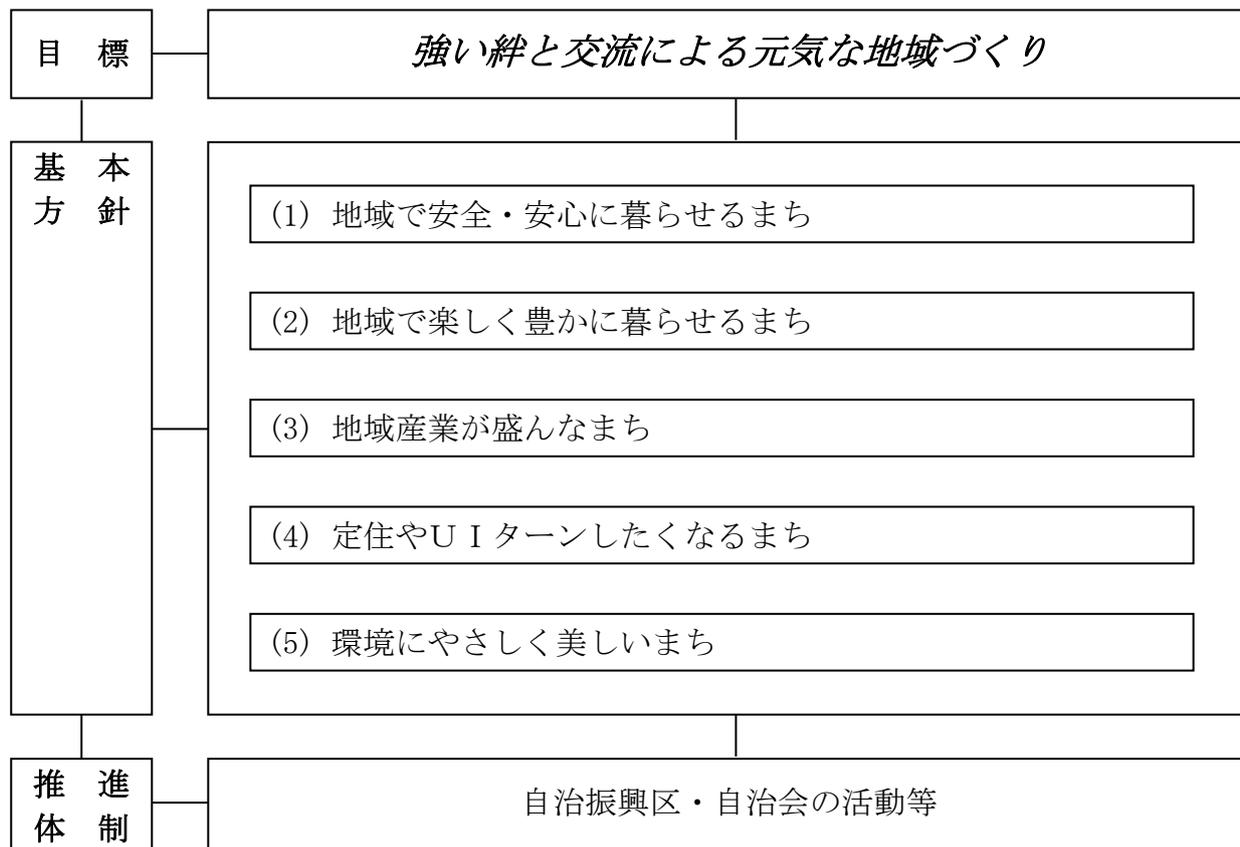
<地域づくりの目標>

強い絆と交流による元気な地域づくり

3 地域づくりの計画

地域づくりの目標を実現するために、5つの基本方針と取組事項を掲げるとともに、これら計画を推進するために大切な事項を掲げました。

<地域づくりの体系>



第3次「地域振興計画」の策定においては、前計画で取り組むこととしていた事業を検証するとともに、新たに設置した「地域活性化推進会議」の意見を聴きながら今後10年間に取り組む事業を以下のとおりとしました。

(1) 地域で安全・安心に暮らせるまち

誰もが地域で安心して暮らせるように、高齢者、障害者の日常生活の支援や子どもの安全な登下校の確保などへ取り組み、緊急時・災害時における地域での支援体制の確立など、地域を挙げて取り組みます。

表 取組事項

項 目	取 組 事 項
① 高齢者、障害者が安全・安心に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○声かけ訪問、見守り活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員、一人暮らし高齢者等巡回相談員、社会福祉協議会と連携した取組 ○ふれあいサロン活動の充実 ○日常生活等の支援の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターとの連携 ・自治振興区、自治会等でサポート組織の設立の検討
② 子どもが安全・安心に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○登下校時の子どもの見守り活動の継続、実施 ○子ども110番の実施 ○地域でのあいさつ運動の実施
③ 安全・安心な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織の設立の推進 ○災害時の高齢者、障害者の避難支援体制づくりの確立 ○緊急時の連絡体制と災害時の避難所・避難地の検討と周知の徹底 ○防災マップの作成、防災訓練の実施

(2) 地域で楽しく豊かに暮らせるまち

誰もが地域で楽しく豊かに暮らせるように、郷土愛を育む歴史文化学習を推進するとともに、住民の日常生活を楽しくする生涯学習、サークル活動、スポーツ活動を推進するほか活動の発表の場となる各種イベントの充実を図ります。

表 取組事項

項 目	取 組 事 項
① 郷土愛を育む歴史文化学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「東地区の歴史紀行」、「歴史カルタ」等を活用した歴史文化学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化探訪・伝承活動を小学校、自治振興区で主催 ○子どもの地域体験学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・里山・川遊び、農業体験、郷土料理体験等 ○子どもと高齢者の交流活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史、民話、民具等の伝承等
② 日常生活を楽しくする活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○各種教室、サークル活動の充実 ○スポーツ・健康づくり活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズに応じた健康講座の開催 ・ウォーキングマップを活用した健康づくりの推進 ○既存イベントの見直し
③ 世代間交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい盆踊り大会、東地区ふれあい祭、敬老会等の充実 ○東自治振興センターを交流の場として開放 <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気軽に来訪し、雑談、交流できる場づくり
④ 県立大学との交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○県立大学の参加による地域活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・東自治振興センターの活動、スポーツ活動、ふれあいサロン等

(3) 地域産業が盛んなまち

地域産業の活性化を支援するために、地元食材を活用した特産品の開発や郷土料理の発掘・継承を行う他、専門的機関の農業技術の活用を図ります。

また、里山の保全を図るため、耕作放棄地の解消や獣害対策に取り組みます。

表 取組事項

項目	取組事項
① 農業生産物品の開発	○郷土料理の発掘、継承活動の推進 ○農産物の生産、特産品の開発並びに販売体制の推進 ○県立大学、畜産技術センター、庄原実業高等学校等の農業技術を活用した農産物のブランド化の推進
② 里山の保全	○里山再生に向けて取組の推進 ○獣害対策の推進

(4) 定住やU I ターンしたくなるまち

若者をはじめとする誰もが地域に住みたくなる地域づくりを推進するだけでなく、地域出身者のUターン、都市住民のIターンが促進されるように、地域出身者や都市住民との交流を推進します。

また、県立大学生との交流を推進し、卒業後の地域への定住に結びつけます。

さらに、U I ターンした人が地域の生活に馴染みやすくするための応援体制や空き家の紹介体制等の確立を図ります。

こうした地域外への情報発信体制を強化するため、東自治振興区のホームページの充実に努めます。

表 取組事項

項 目	取 組 事 項
① 地域出身者との交流の推進	○地域出身者への情報発信体制の確立 ・地域イベント等の情報の定期的な発信 ・特産品の宅配等による交流 ○帰省時の地域行事への参加、Uターンの働きかけ
② 都市住民との交流の推進	○都市住民との交流のきっかけづくりの推進 ・農産物、特産品等の販売、郷土料理の提供等 ○地域行事への参加、Iターンの働きかけの検討 ○民泊受け入れの推進
③ 地域定住への支援体制づくり	○U I ターン者に対する対応体制の確立 ○空き家の紹介体制の確立 ・空き家調査、リスト作成、所有者の確認、意向把握、空き家情報の発信、仲介等
④ 地域外への情報発信体制づくり	○東自治振興区のホームページの充実

(5) 環境にやさしく美しいまち

環境にやさしいまちづくりを目指して、環境美化活動を今後も一層推進するとともに、廃食油等のリサイクル活動、日常生活における省エネへの取り組みを推進します。

また、地域資源を活用しながら美しいまちづくりを目指して、遊休農地、里山を活用した地域の庭づくり、国営備北丘陵公園沿道の修景、住民の憩いの場となる国兼川のホタルの里づくり活動に取り組みます。

表 取組事項

項 目	取組事項
① 環境にやさしいまち	○環境美化活動の推進 ・河川、里山及び道路の清掃、ゴミ・タバコ等のポイ捨て禁止等への取組等 ○廃食油等のリサイクル活動の推進 ○日常生活における省エネへの取組の推進
② 美しいまち	○遊休農地・里山を活用した地域の庭づくりの推進 ○来訪客に東自治振興区を印象づけ、農産物、特産品の販売促進を図るために、国営備北丘陵公園アクセス道路沿い等への花の植栽による美しい景観づくりの推進 ○住民に憩いの場として親しまれる川づくりを行うために、国兼川のホタルの里づくりの推進

4 地域づくりを支える自治振興区活動の推進

(1) 活動の目標

東自治振興区では活動の目標として次の3つを掲げます。

＜活動の目標＞

- ① 住民一人ひとりが、活動の主役として適材適所で力を発揮する活動の推進
- ② 一人ひとりが連携して、支え合い助け合いの活動の推進
- ③ 一人ひとりが興味を持ち、参加することが楽しくなる活動の推進

(2) 計画を具体化するための取組

計画を具体化するために、次のような取組を行います。

＜計画を具体化するための取組＞

- ① 計画の推進プログラムの作成（重点プロジェクト等）と計画の進行管理体制の確立
- ② 地域づくりの担い手となる人材発掘と適材適所での担い手の活用体制の確立
- ③ 一人ひとりが主役になれるイベントづくりの検討
（既存イベントの運営方法、事業内容等の見直し）
- ④ 地域内での情報発信体制の強化による情報共有の推進
（ホームページ、メール、広報紙、常会、回覧板等）
- ⑤ 地域出身者、都市住民等に対する地域情報発信体制の確立
（ホームページ、メール等）

(3) 関係団体との連携体制の確立

計画を具体化するために、東自治振興区を基本としつつ、関係団体と連携して取り組みます。

＜関係団体との連携体制の確立＞

- ① 行政との役割分担、連携の強化（活動支援（情報、人材、補助金等））
- ② 県立広島大学庄原キャンパス、畜産技術センター、国営備北丘陵公園、高等学校等との連携の強化（情報、技術、人材等）
- ③ 自治振興区内の各種団体との役割分担、連携の強化
（地域づくりの担い手相互の連携）

5 地域づくりの重点事業

東自治振興区では、地域づくりの計画で掲げた項目のうち、次の事業に重点的に取り組みます。

(1) 日常生活等の支援事業

平均寿命が年々延びていく今日、一人暮らしや高齢者のみの世帯の増加も顕著となっているため、高齢者の安全・安心への取り組みとともに日常生活等の支援について検討していきます。

- ・自治会によってインフラや自然条件等の実態が異なっており、真に高齢者等が望まれている支援の把握に取り組みます。
- ・他の団体等が行っている事業や法律等との関係を勘案しながら、自治振興区又は自治会で実施可能な支援を行うサポート組織の設立に取り組みます。

(2) 自主防災事業

いつ発生するか分からない災害に対し、住民ひとり一人が日頃から備えておくことは重要であり、地域の実情に応じた自主防災事業に取り組みます。

- ・住民の自助・互助の立場から実施可能な対策を取り纏め、災害による被害の防止や軽減を図ることを目的に自主防災組織の設立に取り組みます。

(3) 地域体験学習事業

地域との触れ合いが希薄になりつつある若年層や子供たちに、東自治振興区内の自然・歴史・文化が感じられる活動を通して郷土愛を育む活動に取り組みます。

- ・保育所・小学校との連携を深め、親子で参加できる活動に取り組みます。

(4) 農業生産物品の開発事業

地域の特産品、農産物、郷土料理等の販売を推進することにより地域産業の振興を図るとともに各種販売事業に取り組みます。

- ・郷土料理の発掘、継承活動を推進し、特産品として育てる活動に取り組みます。
- ・多様な商品を販売するため、農産物の生産、特産品の開発並びに販売体制づくりに努めます。

(5) ホームページ充実事業

東自治振興区の魅力と様々な活動を地域内外に発信するために、ホームページの内容の充実を図るとともに、日常的に情報更新ができる体制を確立します。

- ・ホームページに掲載する情報を充実し、地域出身者、都市住民等との交流推進に取り組みます。
- ・情報担当人材の確保、育成によるホームページでの情報発信、更新体制を確立します。

資料 計画策定の経緯等

1 地域活性化推進委員名簿

所 属 等	役 職 等	氏 名
庄原中学校代表	PTA東地区代表（三日市地区）	矢吹 いづみ
	PTA東地区代表（七塚地区）	速見 直孝
東小学校代表	PTA会長	平田 貴則
七塚保育所代表	保護者会会長	石田 栄作
三日市保育所代表	保護者会副会長	福田 協二郎
民生・児童委員代表		友國 貴視
		永迫 眞二
		宇山 茂之
一人暮らし高齢者等 巡回相談員代表		坂本 茂代
		宮本 ひとみ
人権教育推進委員		藤本 崇
		石田 泰則
振興区役員代表	副区長（総務部長）	田邊 良三
	副区長（社会福祉部長）	久保 照子
	産業振興部長	吉森 幾雄
	文化教養部長	藤谷 昭憲
	環境部長	山口 晏章
	生涯学習部長	岡田 幹也
	女性部長	青木 頼子
	老人部長	森藤 義昭

2 振興区役員会及び総務部会員名簿

自治会長・役職・所属等	氏 名	自治会長・役職・所属等	氏 名
上原一区：区長：総務部	東 泰治	七塚東区：生涯学習部長	岡田 幹也
副区長：総務部長	田邊 良三	七塚西区	矢吹 治義
副区長：社会福祉部長	久保 照子	田 原	白池 明
三日市一区：文化教養部長	藤谷 昭憲	市	延藤 浩二
三日市二区：環境部長	山口 晏章	掛 田：総務部	石田 泰則
三日市三区	児島 茂春	女性部部長	青木 頼子
山の崎住宅	梶山 剛	老人部部長：総務部	森藤 義昭
戸 郷：総務部	新田 久登	青年部部長	島田 竜也
戸郷市民住宅	清水 勇馬	体育部部長	浅間 剛
戸郷団地	栃尾 和孝	総務部	前永 令子
上原南区：産業振興部長	吉森 幾雄	振興区事務局長	塚原 春雄

3 計画策定の主な経緯

年月日	会 議 等	審 議 事 項 等
平成29年 9月9日	振興区役員会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート集計結果の区民報告案協議 第3次「地域振興計画」策定スケジュール等協議
平成29年 9月29日	第1回 地域活性化推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 第2次「地域振興計画」の概要、アンケート集計結果及び事業実施状況等報告 第3次「地域振興計画」策定スケジュール等協議
平成29年 11月2日	振興区役員会	<ul style="list-style-type: none"> 第2次「地域振興計画」実施状況の検証内容報告 地域活性化推進会議の実施内容報告
平成29年 11月17日	第2回 地域活性化推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップによる事業検討・提案
平成29年 12月2日	振興区役員会	<ul style="list-style-type: none"> 第2回地域活性化推進会議における事業提案等報告
平成29年 12月14日	第1回総務部・専門 部長合同会議	<ul style="list-style-type: none"> 第3次「地域振興計画」実施項目等協議
平成30年 1月17日	第2回総務部・専門 部長合同会議	<ul style="list-style-type: none"> 第3次「地域振興計画」重点事業等協議
平成30年 2月2日	振興区役員会	<ul style="list-style-type: none"> 第3次「地域振興計画」(案)の報告
平成30年 2月8日	第3回 地域活性化推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 第3次「地域振興計画」(案)の報告
平成30年 3月2日	振興区役員会	<ul style="list-style-type: none"> 第3次「地域振興計画」策定の報告